

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

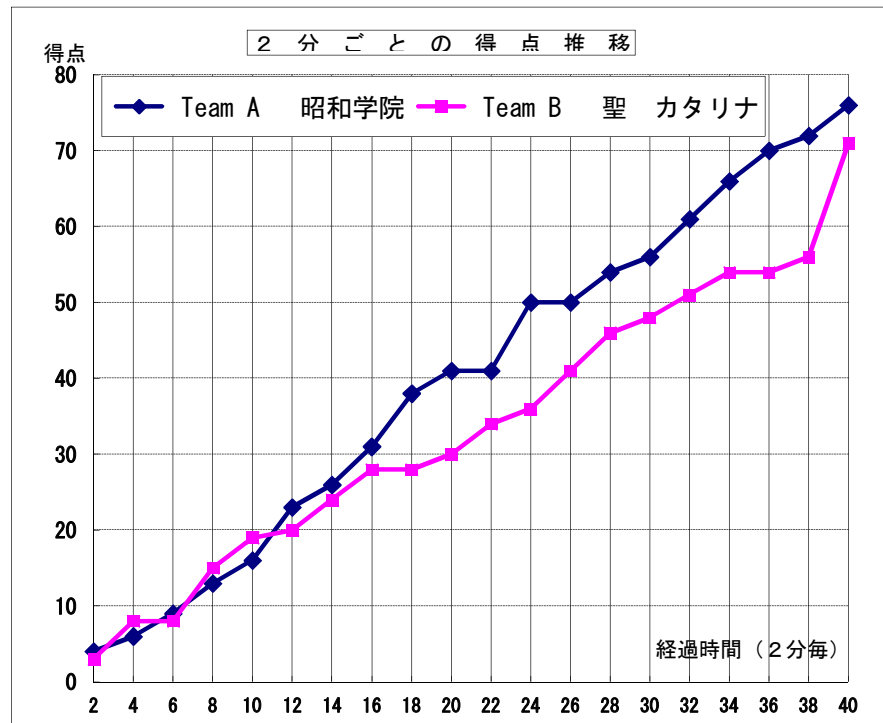
女子 準決勝

試合日	2013年8月2日
開始時間	11:40
会場	ダイハツ九州アリーナ
コート	N
試合順	2

Team A		Team B
昭和学院	76	71
千葉県		愛媛県

Team A 昭和学院		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
No.	S 選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	木村 優子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	川原 明香里	2	0	1	1	1	0	0	0	1	2	3	1	1	0	1	24:20
6	渡部 友里奈	9	0	1	3	7	3	4	4	1	5	6	0	1	0	2	21:24
7	◎ 村岡 美英	6	2	4	0	4	0	0	1	3	7	10	1	0	0	2	32:54
8	◎ 小山 真実	18	4	6	2	11	2	2	2	4	7	11	0	1	0	3	40:00
9	◎ 田口 明佳莉	13	1	7	3	4	4	4	3	1	2	3	9	3	1	8	40:00
10	稲垣 世羅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	北條 彩佳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	◎ 赤穂 さくら	28	0	0	12	17	4	5	0	6	14	20	0	2	1	9	40:00
13	小野尾 梨紗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	◎ 山本 由真	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	01:22
15	中村 美羽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:	鈴木 親光								0	1	2	3					0
合計		76	7	19	21	44	13	15	11	17	39	56	11	8	2	27	200
		RATE	36.8%	47.7%	86.7%												

Team B 聖カタリナ		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
No.	S 選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	軸丸 ひかる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	◎ 宮崎 早織	18	3	8	4	12	1	4	4	3	2	5	3	8	0	5	40:00
6	鳥谷 香蓮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	◎ 加藤 瑠倭	14	0	0	7	20	0	0	4	3	2	5	0	1	1	2	32:35
8	濱田 真子	7	1	2	2	4	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	23:11
9	奥根 由惟佳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	03:06
10	◎ 篠原 華実	15	2	5	4	10	1	1	2	1	3	4	3	2	1	1	36:54
11	◎ 曾我部 奈央	15	2	4	2	6	5	8	3	0	3	3	0	2	0	2	40:00
12	正木 夏奈芽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	細貝 野乃花	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	山本 茉紀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	◎ 木村 珠貴	2	0	0	1	2	0	0	3	0	1	1	1	1	0	0	24:14
Team / Coach:	尾下 桂子								0	3	2	5					0
合計		71	8	19	20	54	7	13	18	10	13	23	8	17	2	10	200
		RATE	42.1%	37.0%	53.8%												



タイムアウトは経過時間で表示しています

CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA	13:43	32:34	38:45	39:46		
TeamB	16:49	27:37	36:59	39:34		

戦評

準決勝、昭和学院対カタリナのシード校同士の熱い戦いが幕を開ける。第1ピリオド、お互いハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。昭和学院#6のジャンプシュートで先制。すかさずカタリナ#7のシュートで応戦。昭和学院#12、#9のジャンプシュートで得点。カタリナは#11、#10の3P、ドライブで応戦し、一進一退の攻防が続く。残り5分から昭和学院は#9、#12の連続得点で11-8、3点リード。カタリナは#7、#11、#10の得点で逆転し第1ピリオド16-19、カタリナ3点リードで終了。第2ピリオド昭和学院#7の3Pですかさず同点に追いつく。両チームともに着実に加点していくが、23-26になったところで、昭和学院すかさずタイムアウト。再開後、昭和学院#6、#8、#9の得点で逆転に成功し35-28になったところで、カタリナがたまたまタイムアウト。再開後お互いに得点を重ね、前半41-30の9点差で昭和学院のリードで前半終了。第3ピリオド、カタリナの激しいDefから#11のドライブで先制。昭和学院は高さを生かした攻撃で、#12のゴール下の得点や#6の連続得点で、残り6分で50-36の14点差にリードを広げる。カタリナはここからさらにDefを強め、プレッシャーをかけ続け、#5、#7の鋭いドライブで連続得点、#11のドライブ、3Pで追い上げ56-48、8点差で昭和学院のリードで第3ピリオド終了。第4ピリオド、カタリナ#10の3Pで5点差に詰め寄る。昭和学院はすかさず#8の3Pで離しにかかる。昭和学院の#12のゴール下のシュートが決まり、63-51になったところで、たまたまカタリナはタイムアウト。再開後、カタリナの#7の得点で10点差にするが、昭和学院の#12、#8のゴール下の連続得点で一気に突き放しにかかる。すかさずカタリナは2回目のタイムアウトを請求。タイムアウトを機に反撃に出たいカタリナ、攻撃的なDefをしかけ応戦。残り1分、カタリナの#5の3P、#10のドライブで追い上げ10点差。その後#8、#5、#11の3連続3Pで猛追し、3点差まで詰めるが、あと一歩及ばず76-71で昭和学院が勝利し、明日の決勝戦に駒を進めた。敗れはしたが、「あきらめず最後まで頑張ろう!」と大きな声で互いに出し合っ、精一杯プレイしたカタリナにも会場から温かい拍手が送られていた。

主審	山崎 人志	副審	前田 喜庸	戦評	長岡 幸次郎
		副審	窪田 淑子		

大分県バスケットボール協会